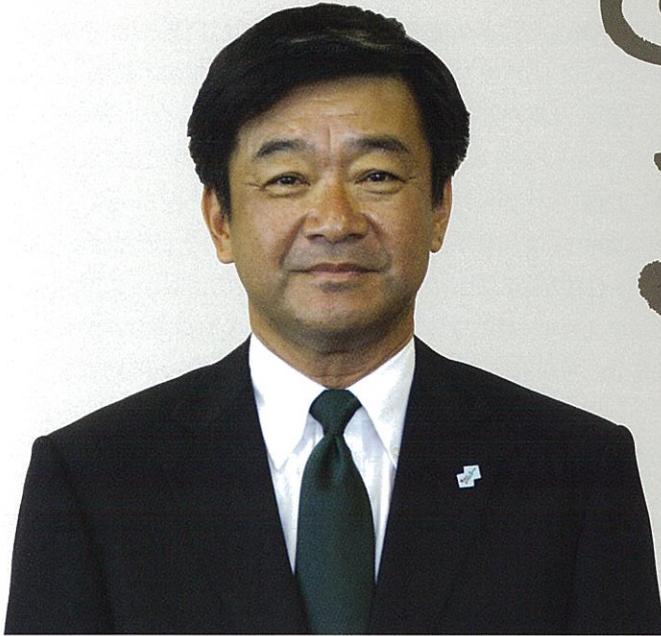


新春を 迎える



国土交通省
中部地方整備局長
足立 敏之

平成24年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、3・11の東日本大震災で未曾有の大災害に直面し、台風12・15号では、中部地方にも甚大な災害がもたらされました。中部地方整備局ではいち早く職員や災害対策機器材等を被災現場に派遣し支援を行ってまいりました。

皆様方にも「中部緊急防災隊」として復旧支援等にご尽力をいただき心から感謝を申し上げます。特に、東日本大震災においては、災害復旧のための啓開道路の確保として「くしの歯作戦」を展開して緊急輸送路の迅速な確保が注目を集め、国民から信頼性の高い道路ネットワーク整備の重要性や災害時の建設業界の必要性などが改めて認識されることとなりました。

中部地方整備局では、平成24年度の重点事項の一つに「国民生活の安全・安心の確保」を掲げております。これは、今後発生が懸念されている東海・東南海・南海地震や、甚大な被害をもたらした台風12・15号のような豪雨災害等に対応するため、ハード・ソフト両面の対策を組合せた災害への対応力の高い社会基盤を構築するなど国民生活の安全・安心の確保に取り組む方針であります。

一方では、老朽化する道路施設の急増等により、道路の保全・維持管理が大変重要になっており、橋梁等の道路構造物はもとより舗装を含めた道路施設を長寿命化する工夫が必要であると考えております。昨年の「建設技術フェア2011in中部」で、皆様からこれらに関する新技術等の出展が多数ありましたが、中部地方整備局でも新技術の活用、新設アスファルト舗装の長期保証制度の原則化、コンクリート舗装の積極的活用などに取り組むこととしています。

国民の期待に応えるべく、社会資本の整備や保全を確実に実施していくためには、関係者全員が力を合わせて知恵を出し合っていくことが重要であり、重ねて皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、日本道路建設業協会中部支部並びに会員の皆様にとりまして、希望に満ちた大いなる発展の年になりますことを心より祈念して年頭のご挨拶といたします。

